

天皇杯・皇后杯
平成21年度全日本卓球選手権大会
(一般・ジュニアの部)

- (1) 名称 天皇杯・皇后杯 平成21年度全日本卓球選手権大会 (一般・ジュニアの部)
(2) 期 日 平成22年1月12日(火)～17日(日) 6日間
(3) 会 場 東京体育館 (JR中央・総武線「千駄ヶ谷駅」下車1分)
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-17-1、 TEL: (03) 5474-2111
(4) 主 催 (財)日本卓球協会
(5) 主 管 東京都卓球連盟
(6) 協 賛 シチズンホールディングス株式会社、サッポロビール株式会社 (予定)
(7) 競技種目 ①男子シングルス ②女子シングルス ③男子ダブルス ④女子ダブルス
⑤混合ダブルス ⑥ジュニア男子シングルス ⑦ジュニア女子シングルス
(8) 試合方法 各種目ともトーナメント方式による。
男・女シングルの第1ステージは11本5ゲームマッチ、第2ステージは11本7ゲームマッチ、他の種目はすべて11本5ゲームマッチで行なう。
(9) 競技日程 後日主管団体より連絡する。
(10) 参加人員 下記表のとおり

表一(1)

加盟団体	男子 単	女子 単	男子 複	女子 複	混合 複
東京(開催地), 愛知	10	10	5	5	5
北海道	8	8	4	4	4
神奈川, 静岡, 福岡	7	7	4	4	4
埼玉	6	6	3	3	3
京都, 兵庫	5	5	3	3	3
千葉, 新潟, 長野, 大阪, 岡山, 広島, 山口	4	4	2	2	2
岩手, 宮城, 山形, 福島, 茨城, 群馬, 岐阜, 愛媛, 佐賀, 長崎, 熊本, 鹿児島	3	3	2	2	2
青森, 秋田, 栃木, 山梨, 富山, 石川, 福井, 三重, 滋賀, 奈良, 和歌山, 鳥取, 島根, 香川, 徳島, 高知, 大分, 宮崎, 沖縄	2	2	1	1	1

表一(2)

加盟団体名	ジュニア男子	ジュニア女子
北海道, 東京(開催地), 神奈川, 静岡, 愛知	8	8
兵庫	7	7
福島, 茨城, 埼玉, 千葉	6	6
新潟, 岐阜	5	5
宮城, 栃木, 群馬, 長野, 大阪, 福岡	4	4
青森, 岩手, 秋田, 山形, 三重, 京都, 岡山, 広島, 山口, 愛媛, 長崎, 熊本, 鹿児島	3	3
山梨, 富山, 石川, 福井, 滋賀, 奈良, 和歌山, 鳥取, 島根, 香川, 徳島, 高知, 佐賀, 大分, 宮崎, 沖縄	2	2

表一(3) ブロック推薦数(男・女シングルスまたはジュニア男・女いずれか1種目)

	北海道	東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州
男子	1	2	3	1	1	2	1	1	3
女子	1	2	3	1	1	2	1	1	3

- (11) 参加資格
- ①参加者は、平成21年度（財）日本卓球協会登録者でかつ、段級制規程（注1参照）に定められた有段者であること。
 - ②男・女シングルス、男・女ジュニア、男・女ダブルス、混合ダブルスに出場する選手は日本国籍を有する者とする。
但し、男・女ジュニア、男・女ダブルス、混合ダブルスは下記の各号の1つに該当すれば外国籍選手も参加できる。
(イ) 日本国民であった者の子（養子を除く）で引き続き3年以上日本に住所または居所を有する者。
(ロ) 日本で生まれたもので引き続き3年以上、日本に住所又は居所を有するもの。又はその父、母（養父母を除く）が日本で生まれた者。
(ハ) 引き続き10年以上日本に居所を有する者。
(ニ) 日本国民の配偶者たる外国人で婚姻の日から3年を経過し、かつ引き続き1年以上日本に住所を有する者。
 - ③各都道府県代表は本会各都道府県卓球協会（連盟）主催の予選会もしくはその他適切な方法により選出されたものであること。
 - ④日本学生卓球連盟にも登録している者は、大学の登録地もしくは卒業高等学校所在地の2ヶ所からどちらか一方を選択しエントリーすることができる。
卒業高等学校所在地より出場を希望する者は、登録加盟団体長より卒業高等学校所在地加盟団体長宛に出場承認の申請をし、申請を受けた卒業高等学校所在地加盟団体長は直ちに内容を検討の上、すみやかに申請加盟団体長宛に可否を連絡すること。
 - ⑤ジュニアは、平成4年4月2日以降に生まれた者であること。（高校2年生以下）
 - ⑥本年度の全日本選手権大会（カデット以下の部）に出場した者でも都道府県の予選を通過すればジュニア及び一般の各種目に参加することができる。
 - ⑦同一人の同一種目について予選会出場は1ヶ所限りとする。
※予選会に出場して通過しなかった選手が、ブロック・日学連・高体連などから推薦されて出場することは容認される。
 - ⑧無条件参加選手の取扱い・・・下記表のとおり

	推薦母体	推薦対象大会等	種目および人数
1	日卓協	平成20年度全日本選手権大会ランキング	男女シングルス・男女ダブルス各ベスト16位まで、混合ダブルス8位まで ・・・それぞれの種目に ジュニア男女各8位まで 高校2年生以下はジュニア及び一般に 高校3年生は一般に
2		平成20年度総合ランキング	男女シングルスランキング各16位まで・・・男女各シングルスに
3		平成21年度全日本社会人選手権大会ランキング	男女シングルス各16位、男女ダブルス各8位まで ・・・それぞれの該当種目に
4		平成20年度全日本(カデット)ランキング	14歳(中学2年)以下の部の男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに ※注：13歳(中学1年)以下の部のランキング保持者は、この大会のジュニアへの推薦はない。
5		平成21年度全国中学校クラブ委員会	男女シングルス各8位まで・・・ジュニアに 男女シングルス各2名、男女ダブルス各1組 ・・・それぞれの該当種目に
7	日本リーグ	平成21年度日本リーグ	男女シングルス各16名、男女ダブルス各8組 ・・・それぞれの該当種目に
8	日学連	平成21年度全日本学生選手権	男女シングルスランキング各16位まで、男女ダブルスランキング各8位まで ・・・それぞれの該当種目に
9	高体連	平成21年度全国高校選手権大会	①男女シングルスランキング各16位までの高校3年生は一般に ②男女シングルスランキング各32位までの高校2年生以下はジュニアに（但し、各16名まで） ③男女ダブルスランキング各8位まで・・・男女ダブルスに 成績上位より男女シングルス各1名・・・男女各シングルスに 成績上位より男女ダブルス各1組・・・男女ダブルスに
10	教職員	平成21年度教職員大会	
<p>1) 推薦出場の全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。</p> <p>2) 全日本及び全日本社会人等でそれぞれ異なるペアでダブルスの推薦対象となった場合、いずれのペアで参加するかを明示して申し込むこと。</p> <p>3) ナショナルチームおよびジュニアナショナルチームに所属する選手が国際大会、海外遠征などで予選会に出場できない場合の取扱いは強化本部規程による。または、強化本部の要請などにより日本卓球協会が特別に推薦出場を認める場合がある。その場合は当該加盟団体を通じ別途通知する。</p> <p>4) ブロック推薦選手には、申込書の備考欄に「ブロック推」と表示すること。</p>			

- (12) 競技ルール ①現行の日本卓球ルールによる。
②一般シングルス種目の上位16シードの組合せは、所属チームに関する均等配分の原則を適用し、都道府県の均等配分は考慮しない。但し、組合せ全体を通して、都道府県の均等配分の原則が適用される。
③一般男女シングルスおよびジュニア男女シングルのランキング推薦選手はベスト32決定戦より、ダブルス（混合を除く）ランキング推薦ペアはベスト16決定戦よりスーパーシードとして出場する。但し、推薦選手（ペア）数がスーパーシード枠数を超える場合は、組合せ委員会規程のシード選手優先選出基準に基づき決定する。
④一般男女シングルスでは、ベスト32決定戦からを第2ステージ扱いとする。
⑤テーブルはブルーを使用する。
⑥使用球は、JTТА公認球；40mmホワイトを使用する。
⑦ゼッケンは本会が大会期間中に各自に交付した本大会用のものを使用すること。
⑧同じユニホームによる対戦を避けるためユニホームを2種類以上持参すること。
⑨ラバーをラケット本体に貼る場合、揮発性有機溶剤を含んでいないものとしてJTТАが公認した接着剤のみを使用すること。
⑩全選手を対象とし、その中から無作為にラケット検査を行う。その結果違反が判明した場合その選手は失格となる。
※フロアマットを使用することがある。

- (13) 参加料 シングルス 1名 3,000円
ダブルス 1組 4,000円

- (14) 申込方法 別紙参加申込書に必要事項を明記し、各都道府県加盟団体長捺印の上、下記宛申し込むこと。尚、参加料は現金書留郵便又は振込にて、日本卓球協会宛送金のこと。

（振込先：みずほ銀行 渋谷支店 当座No.5337 財団法人日本卓球協会）

原本を 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館内
（財）日本卓球協会 宛

TEL: (03) 3481-2371、FAX: (03) 3481-2373

コピーを 〒160-0023 新宿区西新宿7-18-5 中央第7西新宿ビル402号室
東京都卓球連盟 宛

TEL: (03) 5389-2965、FAX: (03) 5389-2987

- ①推薦出場の選手も含め全ての選手は推薦母体にかかわらず必ず各都道府県卓球協会（連盟）を通じて申し込むこと。

- ②ブロック推薦の選手申込みについては、重複、欠落がないよう十分に注意すること。

- (15) 申込締切 平成21年11月24日（火）必着のこと。

締切日迄に申込無き場合は、不参加とみなす。もし、事情により遅れる場合は、必ず日本卓球協会事務局まで連絡のこと。

- (16) 宿 泊 後日主管団体より資料が各加盟団体宛に発送されます。

- (17) その他 ①一旦申し込まれた選手の締切日以降の変更は原則として認めない。又、組み合わせ抽選決定後は一切認めない。

- ②やむを得ない事情で本大会を棄権する場合は、必ず本会宛連絡すること。

棄権する場合は、理由を付して当該加盟団体長あて文書を持って届け出ること。そして、加盟団体長は、その旨をただちに本会あて通知すること。

- ③開会式には原則として全員参加すること。

- ④本大会及び予選におけるケガ、疾病が発生した場合は、本会規程により「お見舞金」が支給されます。

- ⑤個人情報の取り扱いに関して

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、それ以外の目的に利用することはありません。

- ⑥大会期間中、任意に「ドーピング検査」を実施する。選手はこれを拒否することは出来ない。拒否した場合にはドーピング検査陽性として制裁対象となる。尚、注意事項については別紙「ドーピング検査について」を参照のこと。
医療機関から処方された薬であっても禁止薬物を含んでいれば処罰の対象となる。病気の治療上、禁止薬物の内服が必要な場合には、全日本選手権の3週間前迄に日本アンチ・ドーピング機構への届け出が必要である。検査対象となった後の届け出は無効であり「陽性」として処分される。

① 平成20年度全日本選手権大会ランキング (申込は都道府県卓から)

男子シングルス				女子シングルス			
1	水谷 隼	(東京)	明治大学	1	平野 早矢香	(大阪)	ミキハウス
2	松平 健太	(青森)	青森山田高校	2	王 輝	(茨城)	日立化成
3	吉田 海偉	(大阪)	グランプリ大阪	3	福原 愛	(東京)	ANA
4	上田 仁	(青森)	青森山田高校	4	森蘭 美咲	(青森)	青森山田高校
5	岸川 聖也	(東京)	スヴェンソン	5	河村 茉依	(茨城)	日立化成
6	渡辺 将人	(東京)	シチズン	6	渡辺 裕子	(大阪)	ミキハウス
7	松平 賢二	(青森)	青森大学	7	石川 佳純	(大阪)	ミキハウス J S C
8	大矢 英俊	(青森)	青森大学	8	金沢 咲希	(大阪)	日本生命
9	韓 陽	(東京)	東京アート	9	藤井 寛子	(大阪)	日本生命
10	丹羽 孝希	(青森)	青森山田中学校	10	藤井 優子	(大阪)	四天王寺高校
11	並木 佑邦	(東京)	シチズン	11	真田 由香	(三重)	21クラブ
12	田勢 邦史	(東京)	協和発酵キリン	12	亀崎 遥	(埼玉)	早稲田大学
13	谷口 祐二	(東京)	シチズン	13	岸田 聡子	(大阪)	日本生命
14	坪口 道和	(青森)	青森大学	14	大岡 博華	(静岡)	アスモ
15	高木 和健	(東京)	東京アート	15	田勢 美貴江	(東京)	十六銀行
16	高木 和卓	(東京)	東京アート	16	若宮 三紗子	(京都)	立命館大学
男子ダブルス				女子ダブルス			
1	岸川 聖也	(東京)	スヴェンソン	1	平野 早矢香	(大阪)	ミキハウス
2	水谷 隼	(東京)	明治大学	2	石川 佳純	(大阪)	ミキハウス J S C
3	時吉 佑一	(大阪)	グランプリ大阪	3	福原 愛	(東京)	ANA
4	横山 友一	(大阪)	グランプリ大阪	4	照井 萌美	(東京)	早稲田大学
5	坪口 道和	(青森)	青森大学	5	渡辺 裕子	(大阪)	ミキハウス
6	垣原 秀	(青森)	青森山田高校	6	藤井 優子	(大阪)	四天王寺高校
7	上原 仁	(青森)	青森山田高校	7	谷岡 あゆか	(東京)	エリートアカデミー
8	野邑 大陽	(青森)	青森山田高校	8	鈴木 李茄	(東京)	エリートアカデミー
9	倉嶋 大洋	(東京)	協和発酵キリン	9	藤沼 亜衣	(茨城)	日立化成
10	田勢 邦史	(東京)	協和発酵キリン	10	島田 小百合	(茨城)	日立化成
11	渡辺 将人	(東京)	シチズン	11	越崎 春歩	(広島)	中国電力
12	並木 佑介	(東京)	シチズン	12	福岡 春菜	(広島)	中国電力
13	大森 隆弘	(東京)	東京アート	13	岸田 聡子	(大阪)	日本生命
14	張 一博	(東京)	東京アート	14	重本 幸恵	(大阪)	日本生命
15	谷口 祐二	(東京)	シチズン	15	金沢 咲希	(大阪)	日本生命
16	中野 祐介	(東京)	シチズン	16	藤井 寛子	(大阪)	日本生命
1	川崎 公介	(東京)	協和発酵キリン	1	石垣 優香	(埼玉)	淑徳大学
2	下山 隆敬	(東京)	協和発酵キリン	2	大庭 咲陽	(埼玉)	淑徳大学
3	江藤 真伍	(福岡)	ファミタク	3	大岡 博華	(静岡)	アスモ
4	立石 佳良	(福岡)	フューアイクラブ	4	松浦 亜希子	(静岡)	アスモ
5	徳増 信弥	(東京)	専修大学	5	山崎 彩恵	(東京)	サンリツ
6	森田 翔平	(東京)	専修大学	6	坂本 沙織	(東京)	サンリツ
7	森本 耕馬	(愛知)	愛工大名電高校	7	小林 美幸	(東京)	ファミタク
8	北村 祐一	(愛知)	愛工大名電高校	8	真田 由香	(三重)	21クラブ
9	高木 和健	(東京)	東京アート	9	阿部 恵	(東京)	サンリツ
10	高木 和卓	(東京)	東京アート	10	山崎 知春	(東京)	サンリツ
11	足立 智哉	(東京)	早稲田大学	11	森永 愛里	(愛知)	愛知工業大学
12	笠原 弘光	(東京)	早稲田大学	12	三浦 佳子	(愛知)	愛知工業大学
13	濱口 元樹	(福岡)	希望が丘高校	13	杉本 枝穂	(東京)	専修大学
14	徳永 大輝	(福岡)	石田卓球クラブ	14	堀部 紗代	(東京)	専修大学
15	水野 大裕	(東京)	明治大学	15	宮本 真梨子	(東京)	東芝マイカシステムズ
16	小野 竜也	(東京)	明治大学	16	梶本 麻莉菜	(東京)	早稲田大学
混合ダブルス				男子ジュニア			
1	田勢 邦史	(東京)	協和発酵キリン	1	上田 仁	(青森)	青森山田高校
2	田勢 美貴江	(東京)	十六銀行	2	松平 健太	(青森)	青森山田高校
3	水野 裕哉	(東京)	明治大学	3	丹羽 孝希	(青森)	青森山田中学校
4	梶本 麻莉菜	(東京)	早稲田大学	4	町 飛鳥	(青森)	青森山田中学校
5	荻原 典和	(北海道)	J R北海道	5	平野 友樹	(山口)	野田学園高校
6	荻原 史	(北海道)	J R北海道	6	森本 耕平	(愛知)	愛工大名電高校
7	水谷 隼	(東京)	明治大学	7	岡田 峻	(愛知)	愛工大名電高校
8	福原 愛	(東京)	ANA	8	森蘭 政崇	(青森)	青森山田中学校
9	石野 倫寛	(京都)	立命館大学				
10	若宮 三紗子	(京都)	立命館大学				
11	塩野 真人	(埼玉)	早稲田大学				
12	亀崎 遥	(埼玉)	早稲田大学				
13	谷口 祐二	(東京)	シチズン				
14	大橋 香織	(東京)	サンリツ				
15	高木 和健	(東京)	東京アート				
16	坂本 沙織	(東京)	サンリツ				
				女子ジュニア			
				1	石川 佳純	(大阪)	ミキハウス J S C
				2	森蘭 美咲	(青森)	青森山田高校
				3	酒井 春香	(大阪)	四天王寺高校
				4	市川 梓	(愛知)	名経大高蔵高校
				5	岡崎 恵	(東京)	武蔵野高校
				6	鈴木 李茄	(東京)	エリートアカデミー
				7	谷岡 あゆか	(東京)	エリートアカデミー
				8	佐藤 優衣	(三重)	21クラブ

② 平成20年度全日本卓球総合ランキング

男子シングルス				女子シングルス			
1	松平 健太	(青森)	青森山田高校	1	王 輝	(茨城)	日立化成
2	中野 祐介	(東京)	シチズン	2	平野 早矢香	(大阪)	ミキハウス
3	水谷 隼	(東京)	明治大学	2	金沢 咲希	(大阪)	日本生命
4	上田 仁	(青森)	青森山田高校	4	石川 佳純	(大阪)	ミキハウスJSC
5	大矢 英俊	(青森)	青森大学	5	森蘭 美咲	(青森)	青森山田高校
6	松平 賢二	(青森)	青森大学	6	若宮 三紗子	(京都)	立命館大学
7	韓 陽	(東京)	東京アート	7	藤井 寛子	(大阪)	日本生命
7	吉田 海偉	(大阪)	テンプリ大阪	8	藤沼 亜衣	(茨城)	日立化成
9	坪口 道和	(青森)	青森大学	9	大岡 博華	(静岡)	アスモ
10	森田 有城	(神奈川)	日産自動車	10	河村 茉依	(茨城)	日立化成
11	張 一博	(東京)	東京アート	11	馮 曉雲	(茨城)	日立化成
12	渡辺 将人	(東京)	シチズン	12	花沢 千夏	(静岡)	アスモ
12	田中 満雄	(東京)	シチズン	13	藤井 優子	(大阪)	四天王寺高校
14	並木 佑介	(東京)	シチズン	14	石垣 優香	(埼玉)	淑徳大学
15	久保田隆三	(東京)	シチズン	15	岸田 聡子	(大阪)	日本生命
16	高木和健一	(東京)	東京アート	16	小野 思保	(埼玉)	淑徳大学
				16	福原 愛	(東京)	ANA
				16	梅村 礼	(愛知)	文化シャッター

③ 平成21年度全日本社会人卓球選手権大会ベスト16 (男女ダブルスベスト8) (申込は都道府県卓から)

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
ベスト 16	() () () () ()	ベスト 16	() () () () ()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1 ()	()	1 ()	()
2 ()	()	2 ()	()
3 ()	()	3 ()	()
4 ()	()	4 ()	()
5 ()	()	5 ()	()
6 ()	()	6 ()	()
7 ()	()	7 ()	()
8 ()	()	8 ()	()

④ 平成20年度全日本 (カデット14歳以下の部) ランキングよりジュニアへの推薦 (申込みは都道府県卓から)

14歳以下男子シングルス				14歳以下女子シングルス			
1	丹羽 孝希	(青森)	青森山田中学校	1	鈴木 李茄	(東京)	エリートアカデミー
2	町 飛鳥	(青森)	青森山田中学校	2	谷岡あゆか	(東京)	エリートアカデミー
3	有延 大夢	(山口)	野田学園中学校	3	佐藤 優衣	(三重)	21クラブ
4	吉田 雅己	(青森)	青森山田中学校	4	成本 綾海	(大阪)	ミキハウスJSC
5	小澤 吉大	(京都)	スイトピア	5	庄司 有貴	(青森)	青森山田中学校
6	姫野 翼	(大阪)	育徳クラブ	6	荒木 悠里	(岐阜)	長森中学校
7	中田 一也	(広島)	庄原スポ少	7	池上 玲子	(兵庫)	有野中学校
8	斎藤 稜馬	(福井)	卓愛レジェンド	8	山地 理穂	(愛媛)	えひめTTC

⑤ 平成21年全国中学校大会よりジュニアへの推薦（申込みは都道府県卓から）

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()

⑥ クラブ委員会の推薦（申し込みは都道府県から）

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1	()	1	()
()	()	()	()

⑦ 平成21年度日本リーグ実業団連盟からの推薦（申し込みは都道府県から）

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()
9	()	9	()
10	()	10	()
11	()	11	()
12	()	12	()
13	()	13	()
14	()	14	()
15	()	15	()
16	()	16	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1	()	1	()
()	()	()	()
2	()	2	()
()	()	()	()
3	()	3	()
()	()	()	()
4	()	4	()
()	()	()	()
5	()	5	()
()	()	()	()
6	()	6	()
()	()	()	()
7	()	7	()
()	()	()	()
8	()	8	()
()	()	()	()

⑧ 平成21年度全国教職員選手権大会推薦（申し込みは都道府県から）

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1	()	1	()
()	()	()	()

⑨ 平成21年度全日本学生選手権大会よりの推薦（申し込みは都道府県から）

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
~	()	~	()
16	()	16	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()

⑩ 平成21年度全国高等学校選手権大会よりの推薦（申し込みは都道府県卓から）

(注) J：ジュニアに推薦
★：一般・ジュニア共推薦対象にならない選手

男子シングルス		女子シングルス	
1	()	1	()
~	()	~	()
16	()	16	()
ベスト32（2年生以下） （上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで）		ベスト32（2年生以下） （上記ジュニア推薦人数とあわせて16名まで）	
ベスト32	()	ベスト32	()
男子ダブルス		女子ダブルス	
1	()	1	()
2	()	2	()
3	()	3	()
4	()	4	()
5	()	5	()
6	()	6	()
7	()	7	()
8	()	8	()

注1) 段級制規程要約

段位取得について（平成4年3月の理事会・評議員会で承認された等級制（現段級制）規程改正に基づく）

- ①全日本社会人卓球選手権大会 ②全日本選手権大会（マスターズの部）
③全日本選手権大会（一般・ジュニア） ④全日本選手権大会（団体の部） ⑤全日本実業団選手権大会

上記5大会に出場する者は、規程に基づく下記の段位を必ず取得していなければならない。この規程を無視した者は出場が取り消される場合がある。ただし、全日本選手権（マスターズの部）の70歳以上の種目については、下記の規程によらず、有段者であることを条件として、その段位を問わないものとする。

段位取得規程要約（平成元年以降）	
(ア) 初出場者	初段
(イ) 同一大会3回目出場者	2段
(ウ) 同一大会5回目出場者	3段
(エ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト16入り経験者	4段
(オ) 上記①及び③大会（一般）単または複ベスト4入賞経験者	5段
(カ) 上記①及び③大会（一般）単または複の優勝者	6段